

事務事業名		認知症対策総合推進事業(旧認知症対策連携強化事業)		会計	介護保険	実施区分			
H28担当課等名		長寿支援課	H28係等名	健康長寿担当	事業種別	政策	開始	21	終了
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
		施策	35	高齢者福祉の推進	H27係等名 健康長寿担当				
目的	対象(誰・何を)	・認知症の人とその家族 ・認知症疾患医療センター、地域包括支援センター			指標名及び単位		27年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	・相談により適切なケアを受けることができる ・地域における認知症ケア体制と、医療との連携体制の強化を図る			対象指標	要介護、要支援認定者のうち認知症と判定された人の数		3405	
	向上させたい上位施策の成果指標	安心していきいき暮らせている高齢者の割合				地域包括支援センター4カ所・認知症疾患医療センター1カ所		5	
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	長寿支援課で受け付けた認知症相談件数			300	250	300	-	
	定性目標								
事業概要	<p>長寿支援課に、認知症に関する専門的知識を持つ認知症地域支援推進員を配置し、次のような業務をおこなう</p> <p>1 認知症疾患医療センター※(飯伊地域では飯田病院が指定されている)との連携により、医療サービスと介護サービスが切れ目なく提供できるように具体的な援助を行う 認知症の確定診断を受け、介護の必要な人を地域の介護へ繋ぐ、専門医療の必要な人を専門医療へ繋ぐ</p> <p>2 地域包括支援センターに対する相談・援助 (1) 認知症介護に関する専門的な助言 (2) 認知症専門医や医療機関の紹介</p> <p>※認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療専門医療相談等の事業、認知症疾患の保健医療水準の向上を図るため、地域の保健医療・介護関係者に対する研修等の事業を実施するために必要な一定の人員・検査体制、施設基準等を満たすものとして県知事が指定する病院</p>								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	<p>長寿支援課に認知症地域支援推進員2名を配置</p> <p>1 認知症疾患医療センター、地域包括支援センター、認知症担当者との連携</p> <p>2 地域包括支援センターや介護保険事業者・認知症の家族等からの相談、専門的な助言や支援</p> <p>3 若年性認知症の実態把握調査</p> <p>4 認知症カフェ(ほっとカフェわたの実)を実施</p> <p>5 認知症ケアパスを作成</p>				<p>1 認知症疾患センターとの連携会議・ケア会議等開催回数</p> <p>2 地域包括支援センター、事業所、住民からの相談件数</p> <p>3 若年性認知症者の実態把握と相談件数</p> <p>4 認知症カフェの開催数</p> <p>5 認知症ケアパスの作成</p>		<p>1 8回</p> <p>2 200件</p> <p>3 12人 延55件</p> <p>4 24回</p> <p>5 28年3月までに作成配布</p>		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		3,993	5,557	4,471	5,216	地域支援事業交付金の任意事業 H27～ 国39% 県19.5% 市19.5% 1号保険料22%			
国庫支出金		1,577	2,167	1,743	2,034				
県支出金		788	1,084	872	1,018				
起債									
その他									
一般財源		1,628	2,306	1,856	2,164				
人件費計(千円)②		1,073		1,073					
正規職員所要時間		300		300					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		5,066	5,557	5,544	5,216				
事業内容・目標達成状況の振り返り	26年度新たに認知症カフェ(ほっとカフェわたの実)は、27年度に月1回から月2回へ回数を増やすことができた。								
改革改善の考え方	①問題点	より多くの人に認知症カフェを知ってもらう必要がある。							
	②改革提案	認知症カフェのPRを引き続き行う。							